

平成25年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	更生保護事業			
予算科目	3 款 1 項 1 目			
総合計画での位置付け	福祉の向上と保健・医療の充実～やすらぎとぬくもりのまちづくり～ 福祉施策の向上と充実			
所管課情報	担当課:	福祉課	電話番号(内線):	526
記入者情報	所属長:	中田 末明	担当責任者:	米湊 明弘
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	青少年の健全育成・罪を犯した人の更生			
根拠法令等				
事業の目的	地域の犯罪を予防するとともに、非行を起こした少年や犯罪者の更生立ち直りの手助けに寄与する。			
事業の内容	更生保護施設「雄郡寮」の運営を支援する。更生保護女性会への補助金を交付する。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	各支部、伊予地区(郡・市)の更生保護女性会及び保護司会などと密接な連携を取り、持続可能な取組となるよう、関係団体と協議していく。			
改善策の 具体的 取り組み	各支部、伊予地区(郡・市)の更生保護女性会及び保護司会などと密接な連携を取り、持続可能な取組となるよう、関係団体と協議していく。			

事業費及び財源内訳					
項 目		24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
事業費	直接事業費	341	343	342	342
	人件費	319	325	162	325
	合計	0	668	504	667
人件費 内訳	人工数	0.04	0.04	0.02	0.04
	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	319	325	162	325
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	660	668	504	667

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
愛媛県更生保護事業負担金	千円	302	304	303	303
更生保護女性会補助金	千円	39	39	39	39

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
	340	340	340	340	0	1,360

成果指標				
成果指標	各種事業への参加者数			
指標設定の考え方	各種事業への参加者数によって、事業の効果を計測する。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標27年度
目標	350	350	350	0
実績	340	355	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	人口減、高齢化の進展にもかかわらず、各種事業への参加者数は微増の傾向である。これは、更生保護女性会会員の努力のたまものであると思われる。一層の効果を上げるために、保護司会など関係機関との連携をより密にして行く必要がある。各支部での自発的な活動など、行政からの自立度は高まっているが、会の活性化のためにも引き続き若い会員の加入を促す方策を探る必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	更生保護は、保護司会との密接な連携を取って活動を行っていますのでこのまま行ってほしいと思います。しかし更生保護の方々の高齢化が進んでいますので少しずつ若返りが必要と思えます。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題